

ぐんま東毛労基通信

	TEL	FAX	QR
太田労働基準監督署	0276-45-9920	45-5573	 太田協会
労働基準協会			
太田労働基準協会	0276-46-5774	46-1544	 館林協会
館林労働基準協会	0276-72-8890	70-7622	
大泉労働基準協会	0276-20-1112	20-1113	

目 次

太田監督署管内の労働災害発生状況	2
群馬労働局からのお知らせ 確認しよう 最低賃金！	3
全国労働衛生週間説明会が開催されました	4
会員訪問 天昇電気工業株式会社 群馬工場	5
協会だより 令和7年度「緑十字賞」を飯塚太田協会長が受賞されました	6
11月・12月の講習・教育のご案内	6

令和7年度 全国労働衛生週間スローガン

**ワーク・ライフ・バランスに意識を向けて
ストレスチェックで健康職場**

業界トップクラスの技術力でプラスチック成形の可能性を追求、期待と要望に応える製品を生み出し続けるパイオニア企業。

天昇電気工業株式会社(以下「天昇電気」)は、プラスチック製品及び金型の設計・製造・販売を手掛けるメーカーです。群馬工場は太田市内において、主に自動車関連部品を製造しています。



〈大型射出成形機〉

電気周辺部品からスタート

1936年(昭和11年)5月、東京都品川区にて菊地五郎氏が「昇商会(のぼるしょうかい)」を創業し、ソケットやスイッチなどの電気周辺部品の製造・販売を開始しました。1940年には法人化し、姓名判断などを参考に、社名を「天昇電気工業株式会社」に改称しました。1950年、従来木製だったラジオ筐体(キャビネット)のプラスチック化に初めて成功し、成形技術の新たな可能性を開拓しました。その後、生産体制と技術を強化し、1961年には東京証券取引所第2部に上場を果たしました。

期待と要望に応える製品群

天昇電気はチャレンジ精神と技術開発力を活かし、プラスチック成形品の多様化を推進してきました。木製であった樽や箱、一升瓶のケースなどのプラスチック化を手始めに、社会のニーズに応えるユニークな自社商品を開発、製造してきました。具体例としては、感染

症などの治療で発生する医療廃棄物の2次感染防止のため、一度閉めたら人力では開けられず、そのまま焼却処分できる密閉式ごみ箱「ミッパール」、ゲリラ豪雨対策用の雨水貯留資材「テンレイン・スクラム」などがあります。

また、2006年にはM&Aを経て群馬工場が設立され、自動車業界への本格参入を果たしました。

天昇電気が培ってきた「ものづくりの力」と新たに獲得した技術やノウハウ、人材を融合させることで、自動車メーカーから課される厳しい品質、納期、価格などの条件を満たす製品群を提供しています。

群馬工場は多くの協会社と連携しながら、カウルパネルやピラーなどを製造し、今では天昇電気全体の売上を牽引する主力拠点の一つとなっています。

労働基準連合会長表彰

本年7月、(一社)群馬労働基準協会連合会より「労働安全衛生優良事業場」として群馬工場が表彰されました。



〈フォークリフトの安全LED照明〉

労働災害が発生していないことはもとより、定期的な安全衛生委員会の開催、安全パトロール、フォークリフトや施設整備の改善、指差呼称活動などが評価されました。また、すべての射出成形機に「見



〈群馬工場全景〉

守りカメラ」と名付けたビデオカメラを設置し、品質の向上や不安全行動の防止、万が一労働災害が発生した時の原因究明や再発防止などに活用していることなども高く評価されました。

若手技術者育成のために

若手技術者の育成のため、「生産革新チーム」という商品開発や設備改良の制度を設けています。アウトプットを求めることに拘らず、「本人が良かれと思うアイデアを形にすること」にチャレンジさせることで、単なる教育や研修では得られない実践的な知識と経験を積むことができる制度となっています。問題解決のアプローチを体験することで、若手技術者のモチベーションの向上が図られ、天昇電気の将来の技術開発を担う人材の育成に寄与しています。

また、「ブラザーシスター制度」では、入社3~6年程度の先輩社員が新入社員をサポートし、業務指導やキャリア形成、悩み事の相談などを行うことで、定着率の向上や社内のコミュニケーションの活性化を図っています。

天昇電気はプラスチック成形品の可能性を追求するパイオニア企業として、今後も益々発展されていくことでしょう。

取材対応

群馬工場長 小川 真史 様